



Active Directory サーバの設定

この章の内容は、次のとおりです。

- [組織ユニットの作成とグループの追加, 1 ページ](#)
- [admin にバインドされないユーザ アカウントの作成, 2 ページ](#)
- [ユーザの作成と CiscoUCS OU への追加, 3 ページ](#)
- [UCS LDAP 設定用の情報の収集, 3 ページ](#)

組織ユニットの作成とグループの追加

AD サーバの組織ユニット (OU) には、Cisco UCS のユーザ ロールをマップする AD グループが含まれています。AD で保持されているすべてのロールについては、Cisco UCS で同じロールを設定しておく必要があります。



(注) 統合するには、AD および Cisco UCS のロール名が一致している必要があります。

手順

- ステップ 1** [Active Directory Users and Computers] を開きます。
- ステップ 2** AD インスタンス `sampledesign.com` を右クリックし、[New] > [Organizational Unit] を選択します。
- ステップ 3** [Name] に `CiscoUCS` と入力します。
- ステップ 4** `ucsaaa` という新しいグループを作成し、新しく作成した CiscoUCS OU にそのグループを割り当てます。
 - a) 新しい [CiscoUCS] OU を右クリックし、[New] > [Group] を選択します。
 - b) [New Object - Group] ダイアログボックスで、[Group name] フィールドに `ucsaaa` と入力します。
 - c) [Group scope] エリアで、[Global] オプション ボタンをクリックします。

d) [Group type] エリアで [Security] オプション ボタンをクリックし、[OK] をクリックします。

ステップ 5 以下のロールについて、ステップ 4 を繰り返します。

- ucsaaa
- ucsadmin
- ucnetwork
- ucsoperation
- ucsecurity
- ucstorage

次の作業

admin にバインドされないユーザを作成し、それを CiscoUCS OU に追加します。

admin にバインドされないユーザ アカウントの作成

Cisco UCS は admin にバインドされないユーザ アカウントを使用して、AD サーバの中でユーザがどのグループに含まれているかを定期的にチェックします。



(注) 不要な認証エラーを防止するため、このアカウントには、有効期限のないパスワードを設定することをお勧めします。

AD サーバ内で、Cisco UCS がユーザを認証するために使用可能な admin 以外のユーザ アカウントがすでに存在している場合は、新しい admin にバインドされないユーザ アカウントを作成する必要がありません。このタスクを省略し、サンプル ユーザを作成して、これらのユーザを Cisco UCS OU へ追加することができます。

手順

ステップ 1 [CiscoUCS] OU を右クリックして、[New] > [User] を選択します。

ステップ 2 [First name] に ucs と入力します。

ステップ 3 [Initials] フィールドはブランクのままにします。

ステップ 4 [Last name] に binduser と入力します。

ステップ 5 [User logon name] に ucsbind と入力し、ドロップダウン リストで [UPN suffix] を選択して [Next] をクリックします。

CiscoUCS OU に、ucsbind というユーザ アカウントが表示されます。

次の作業

サンプルユーザを作成し、そのユーザを CiscoUCS OU に追加します。

ユーザの作成と CiscoUCS OU への追加

手順

-
- ステップ 1 [CiscoUCS] を右クリックし、[New] > [User] を選択します。
 - ステップ 2 [First name] に sample と入力します。
 - ステップ 3 [Last name] に admin と入力します。
 - ステップ 4 [Full name] に sampleadmin と入力します。
 - ステップ 5 [User logon name] に sampleadmin と入力し、ドロップダウンリストから [UPN suffix] を選択して [Next] をクリックします。
 - ステップ 6 作業ペインで sampleadmin を右クリックして [Properties] をクリックします。
 - ステップ 7 [MemberOf] タブをクリックして [Add] をクリックします。
 - ステップ 8 [Select Groups] ダイアログボックスの [Enter the object names to select] フィールドで ucsadmin と入力して [OK] をクリックします。
 - ステップ 9 もう一度 [OK] をクリックして [Sample Admin Properties] ダイアログボックスを閉じます。
 - ステップ 10 (任意) ステップ 1～9 を繰り返して次のユーザを作成します。
 - sampleaaa
 - samplenetwork
 - sampleoperation
 - samplesecurity
 - samplestorage
-

次の作業

Cisco UCS LDAP の設定に必要な情報を収集します。

UCS LDAP 設定用の情報の収集

LDAP、および Cisco UCS Manager の複数の同時承認を設定するには、AD サーバのいくつかの値にアクセスする必要があります。この例では、サードパーティのユーティリティである ADSIEdit を使用して、必要な値を検索します。

はじめる前に

ADSI Edit をインストールし、編集します。

手順

-
- ステップ 1** ADSI Edit を開いて DC=sampldesign,DC=com に移動します。
これは BaseDN フォルダです。
- ステップ 2** LDAP 認証を設定するために Cisco UCS Manager で必要な BaseDN の値を検索するには、次の手順を実行します。
- DC=sampldesign,DC=com インスタンスを右クリックして [Properties] を選択します。
 - [Attribute Editor] タブで、distinguishedName を選択します。
 - [String Attribute Editor] ダイアログボックスで、文字列を選択して [Value] フィールドにコピーします。
BaseDN の値は、DC=sampldesign,DC=com の形式に従っています。
 - BaseDN の値の文字列は、後で使用できるようテキストファイルに貼り付けます。
- ステップ 3** DN で、AD の CiscoUCS OU に追加した各ロールを検索するには、次の手順を実行します。
- CiscoUCS OU を展開し、CN=ucsadmin ロールを右クリックして [Properties] を選択します。
 - [Attribute Editor] タブで、distinguishedName を選択します。
 - [String Attribute Editor] ダイアログボックスで、文字列を選択して [Value] フィールドにコピーします。
これは、CN=ucsadmin,OU=CiscoUCS,DC=sampldesign,DC=com の形式に従っている必要があります。
 - DN の値の文字列は、後で使用できるようテキストファイルに貼り付けます。
 - CiscoUCS OU 内の各 AD グループについてこれらの手順を繰り返します。
- ステップ 4** BindDN で admin にバインドされないユーザアカウントを検索するには、次の手順を実行します。
- ucsbind というユーザアカウントにナビゲートします。
 - CiscoUCS OU で ucsbind というユーザアカウントを右クリックし、[Properties] を選択します。
 - [Attribute Editor] タブで、distinguishedName を選択します。
 - [String Attribute Editor] ダイアログボックスで、文字列を選択して [Value] フィールドにコピーします。
BindDN は、CN=ucsbind,OU=CiscoUCS,DC=sampldesign,DC=com の形式に従っている必要があります。
 - BindDN の値の文字列は、後で使用できるようテキストファイルに貼り付けます。
- ステップ 5** [Attribute Editor] タブで、sAMAccountName 属性が存在することを確認します。
-

次の作業

これらの値を使用して Cisco UCS を設定します。